独立行政法人国立病院機構
信州上田医療センター
臨床研修プログラム　〈簡易版〉

信州上田医療センター
独立行政法人国立病院機構 Shinshu Ueda Medical Center

➢ 病院の理念　　地域における最後の砦として、安全で質の高い医療を提供し、
皆様に愛される病院を目指します。

➢ 信州上田医療センターの沿革

平成９年７月１日　国立長野病院と国立東信病院が国立東信病院の敷地内において統合し、国立長野病院として発足

平成１６年４月１日　独立行政法人国立病院機構への移行に伴い、「独立行政法人国立病院機構長野病院」へ名称変更

平成２３年４月１日　地域医療教育センターを開設し、病院名を「独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター」へ変更

➢ 信州上田医療センターの概要

病　院　名　　独立行政法人国立病院機構　信州上田医療センター

所　在　地　　〒386-8610　長野県上田市緑が丘１－２７－２１

Ｔ　Ｅ　Ｌ　　0268-22-1890

Ｆ　Ａ　Ｘ　　0268-24-6603

病　床　数　　運営病床数　347 床

※　医療法承認病床数 420 床（一般 416 床　感染症４床）

標榜診療科　　内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、腫瘍内科、膠原病内科、緩和ケア内科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺内分泌外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、救急科、肝臓内科、総合診療科、臨床検査科

医師数　　常勤医　77 名（R8.5 月現在）

臨床研修医　10 名（　〃　）

患者統計　　令和７年度

一日平均入院患者数　295．１人

一日平均外来患者数　713．６人

一日平均救急外来患者数　17．８人

一日平均救急車搬送患者数　11．81 人

手　術　等　　令和７年度

年間手術件数　3,742 件　　全身麻酔件数　2,681 件

心臓カテーテル検査数　762 件　　分娩数　640 件

➢　信州上田医療センター臨床研修プログラム

【プログラムの目的と特徴】

✧　目的

地域における中核病院としての本病院の特色を生かし、日常診療で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切に対応できる基本的知識及び技能を修得すると共に、医療における人間関係についての理解を深め、医師としての資質の向上を図ることを目的とする

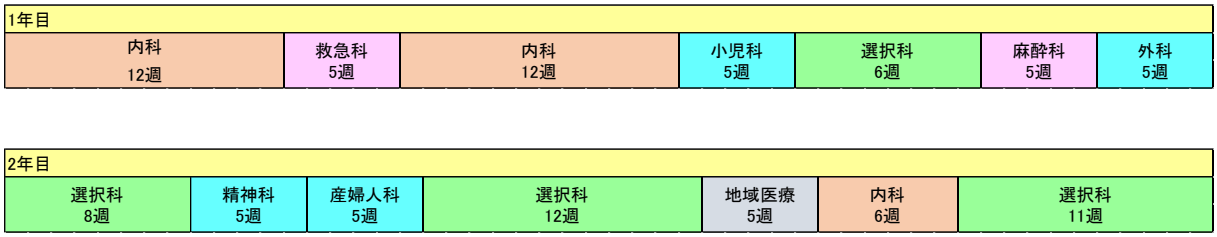
✧　特徴

地域の中核病院としての本病院での患者の疾患や病態は多岐にわたり、全ての診療科において初期診療から専門診療まで幅広く研修することができる。

研修開始時には研修医オリエンテーションを行う。

続いて内科にて医師の基本を含め、指導医・上級医・後期研修医との屋根瓦式で研修を行う。

【研修スケジュール】



＜研修スケジュールの１例＞

q

1）必修科目

内科（※1）	24 週以上	（信州上田医療センター）
救急（※2）	12 週以上	（信州上田医療センター）
地域医療	４週以上	（国保依田窪病院，上田腎臓クリニック）
外科	４週以上	（信州上田医療センター）
小児科	４週以上	（信州上田医療センター）
産婦人科	４週以上	（信州上田医療センター）
精神科	４週以上	（千曲荘病院，小諸高原病院，栗田病院）
一般外来（※3）	４週以上	（信州上田医療センター，国保依田窪病院，上田腎臓クリニック）

※1．内科研修時は、週１回総合診療にて一般外来を並行研修する。

※2．救急研修は、救急科ブロック研修と休日・夜間救急研修（３回/月まで、夜間 17：15～23：15、休日昼間９：15～17：15）で行う。

※3．一般外来研修は地域医療研修及び信州上田医療センター内科、小児科研修時に並行研修で行う。

※4．救急研修の一環として４週の麻酔科研修を行うことも可。

2）選択科目

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌代謝内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、産婦人科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、放射線治療科、放射線診断科、救急科，血液内科，腫瘍内科、膠原病内科

※1．病理診断科は信州上田医療センターあるいは信州大学医学部附属病院で研修可能

※2．血液内科，腫瘍内科、膠原病内科は信州大学医学部附属病院で研修可能

3）臨床研修協力施設

長和町・上田市組合立　国保依田窪病院
医療法人慈修会　上田腎臓クリニック
医療法人友愛会　千曲荘病院
独立行政法人国立病院機構　小諸高原病院
公益財団法人倉石地域振興財団 栗田病院
信州大学医学部附属病院　病理診断科、血液内科、腫瘍内科、膠原病内科

4）研修カリキュラムの概要

1 年次は内科 24 週を必修とする。2 年次は地域医療 4 週を必修とする。地域医療研修は国保依田窪病院、上田腎臓クリニックにて行う（短期で上田保健福祉事務所での研修も可能）。

その他の必修科目（外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、一般外来）については、外科（4 週以上）、小児科（4 週以上）、産婦人科（4 週以上）を 2 年間の中で当院でのブロック研修で選択する。精神科研修（4 週以上）は千曲荘病院、小諸高原病院、栗田病院にて行う。救急研修（12 週以上）については、当院救急科でのブロック研修及び休日・夜間救急研修（3回/月まで、夜間 17：15～23：15、休日昼間 9：15～17：15、40 回以上）で行う（麻酔科研修 4 週分を救急研修として行っても良い）。一般外来研修は地域医療研修中と当院小児科研修中、および当院内科研修中における週 1 回の総合診療研修で行う（合計 4 週以上）。

選択科目は呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌代謝内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、産婦人科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、放射線治療科、放射線診断科，血液内科，腫瘍内科、膠原病内科を選択できることとする。研修期間は 1 科につき 4 週以上（6 週以上が望ましい）とする。病理診断科研修は信州大学医学部附属病院病理診断科で行うことも可能である。血液内科、腫瘍内科、膠原病内科は信州大学医学部附属病院での研修となる。

【勉強会等】
ジャーナルクラブ　月１回火曜日
研修医クルズス　　毎週火曜日
院内キャンサーボード　第３週月曜日
総診・救外カンファレンス　毎週水曜日
各科カンファレンス
病院職員向け各種研修会
各科学会発表
院内研究発表会（２月）
【休日・夜間救急研修】
・１年次５月より
・当直医について勤務
・勤務時間：夜間 17：15～23：15、休日昼間９：15～17：15
・３回/月以内　（要事調整）
　※救急科研修時は週２回、救急指導医と準夜勤勤務（17：15～21：00）

➢　各科（主な診療科）紹介　　・・・先輩研修医の視点から　　※(　)内は医師数
【呼吸器内科】　（４名）
肺癌、ＣＯＰＤ、間質性肺炎、感染症など市中病院でみる疾患は網羅できます。
胸腔穿刺、胸腔ドレナージ、気管支鏡検査など呼吸器内科で行う手技はほとんどできるよう指導していただけます。気管支鏡検査を経験できることもあります。

【循環器内科】　（５名）
急性期の花形診療科です。病棟(特に HCU)での全身管理、心臓超音波検査手技、心臓カテーテル検査手技を勉強できます。救急患者対応、院内急変対応も行うため緊急対応に強くなります。

【消化器内科】　（６名）
消化管班、肝臓班に分かれ、半分ずつ研修します。
消化管班では上部下部内視鏡検査、ERCP、ESD、EMR など、肝臓班では腹部超音波検査、胆道ドレナージなどを勉強できます。救急対応でも役立つ腹部超音波検査は自分でできるようになります。

【脳神経内科】　（４名）
脳卒中、認知症、パーキンソン病など common な疾患から ALS、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺など神経難病まで幅広く勉強できます。神経所見の取り方、頭部画像の読み方など基本的なことから、腰椎穿刺手技、脳波の読み方まで丁寧に指導していただけます。

【腎臓内科】　　（３名）
腎機能障害のある患者は多く、輸液、電解質、血圧の管理は腎臓内科でしっかり勉強しておくとよいと思います。一般的な入院管理だけでなく透析管理も勉強できます。また手技も CV 留置、シャント作成、シャント拡張術など多く経験できます。

【外科】　（6 名）
主に消化器外科について学べます。腹部 CT の読影法から外科に必須な糸結び、縫合などの手技まで丁寧に教えていただけます。機会があれば腹腔鏡手術の助手や CV ポート留置なども経験でき、外科に興味のある方、手技をたくさん経験したい方におすすめです。

【脳神経外科】　（3 名）
脳梗塞、脳腫瘍、頭部外傷などの急性期の管理を経験できます。外科の基本的手技や頭部 CT・MRI の読影はしっかり教えていただけます。脳梗塞の血栓回収、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術など血管内治療や開頭血腫除去術など手術も多く行っており、希望があれば時間外の緊急手術にも参加できます。

【泌尿器科】　（4 名）
膀胱鏡や前立腺生検、膀胱結石破砕術、ステント交換、エコーなど実際にやらせていただける手技が多いです。敗血症性ショックなどの対応も学べて為になりました。

【整形外科】　（5 名）
骨折観血的手術、人工関節置換術、腫瘍摘出術など様々な手術を経験できます。外来や病棟業務を通じて、外傷、骨折への処置や術後管理を学ぶことができます。

【呼吸器外科】　（2名）
胸腔鏡下での肺癌と気胸の手術を行っています。術後管理、呼吸管理はもちろん胸腔ドレナージなどの手技も勉強できます。興味があれば執刀医として手術をさせてもらえることも。

【耳鼻咽喉科】　（2 名）
救急外来で多い主訴であるめまい、鼻出血に自信をもって対応できるようになります。咽頭喉頭ファイバー、頸部エコー。扁桃摘出術など機会があれば手技もたくさん経験できます。幅広い層の患者さんと向き合う科であり、難聴患者への対応の仕方も勉強になりました。

【小児科】　（5 名）
病棟、外来、救急対応など common disease からの緊急疾患まで幅広く勉強できます。採血、ルート確保、心臓超音波検査など手技もしっかりできるようになります。また NICU での業務や帝王切開の立会いもするため新生児対応も学べます。

【産婦人科】　（5 名）
分娩の立ち会い、外来陪席、手術などを行います。月数回のオンコールに入り、緊急帝王切開など緊急手術対応も行います。興味があれば帝王切開の執刀ができることも。

【麻酔科】　（5 名）
麻酔導入、気管挿管、全身麻酔維持、Ａライン確保、抜管など麻酔科手技をマンツーマンで指導していただけます。緊急現場で必要になる手技が多いため緊急対応のためにも重要な研修になると思います。

【緩和ケア内科】　（１名）
オピオイドを使用した疼痛コントロールに強くなれます。モルヒネなどの使用経験もたくさん積めます。その他多彩な症状対応をするため対症療法に強くなります。非がん患者もいますが、がん患者がメインであり診断直後から終末期まで様々な段階をみて全人的医療とは何かを考えることができます。

【糖尿内科】　（３名）
糖尿病、甲状腺疾患などの内分泌疾患の診療を行います。通常の血糖管理だけでなく、周術期の血糖管理やステロイドカバーなどのいらいもあるため幅広い知識が必要になります。糖尿病の有病率は非常に高く、どの診療科でも診察の機会があるので、かなり有意義な研修になると思います。
【放射線治療科】　（1 名）
研修を通して放射線治療が行われる場面の多さに驚くと思います。何が行われているか知らないと一生しらないままになりがち。研修をすることで放射線治療が使えるかもという発想の幅が広がると思います。治療計画は実際に PC 上で作成することができます。

【放射線診断科】（１名）・【救急科】（1 名）・【形成外科】（2 名）【病理検査科】（3 名）
【リハビリテーション科】（1 名）・【乳腺内分泌外科】（2 名）【歯科口腔外科】（3 名）

➢　当院で研修することのメリット　・・先輩研修医の視点から
◦厚生労働省指定以外の必修診療科がないため、オーダーメイドの実習ができる。
◦各科の日程や期間の調節に融通が利く。(1 ヶ月半・３ヶ月単位で回らないことも可能)
◦上小地区唯一の２次救急後方支援病院（中核病院）のため、いろんな症例があつまる。
◦当院にない精神科、血液内科、腫瘍内科、膠原病内科は他院で研修が可能。
◦中規模病院のため、先生の顔がわかり、とても相談しやすい環境。
◦医療スタッフとも距離が近く、病院単位での行事などもある。
◍車で 1 時間以内に軽井沢があり、新幹線では 1 時間半で東京まで行かれる。
◍意外と飲む所がいっぱいある。

【処遇】

身分　期間職員

給与　１年次　基本給　409,000 円

　　賞与　　１か月分

　　２年次　基本給　476,000 円

　　賞与　　１か月分

　　超過勤務等手当あり

【勤務時間】

週３５時間勤務に調整

【休暇】

・年次有給休暇　２０日

・リフレッシュ休暇　　連続する３日間

・特別休暇等あり（詳細は規定による）

【宿舎】

院外借り上げ宿舎　単身者向け（1LDK）世帯用宿舎一部負担有

　家賃　自己負担額約 18,000～21,000 円/月

家族入居希望者については空きがある場合、病院宿舎を紹介します。

【その他】

・学会参加費支給あり（上限あり）

・各種勉強会参加費用補助あり

・医師賠償責任保険個人加入（必須）

― 病院見学は随時受付けています ―

病院ホームページ　URL　http://shinshuueda.hosp.go.jp

または下記問い合わせ先よりお申し込みください。

≪　問い合わせ先　≫

独立行政法人国立病院機構　信州上田医療センター

地域医療教育センター

住所：〒 386-8610　長野県上田市緑が丘 1-27-21

電話： 0268-22-1890

FAX： 0268-24-6603

E-mail： 230-kyoiku@mail.hosp.go.jp